

第63回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 教育セミナー(ランチオン)4



日時

2022年6月25日(土)
12:10▶13:00

会場

D会場

幕張メッセ 国際会議場 1F
会議室103

〒261-8550
千葉市美浜区中瀬2-1



診察室も、日常も
私らしさ、もういちど。

メンタルヘルス不調からの 職場復帰

座長

東北大学大学院 医学系研究科 心療内科学分野 教授

福土 審 先生

演者

大阪公立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 教授

井上 幸紀 先生

ご参加の皆様には、お弁当をご用意しております。(数に限りがあります)

- 本セミナーは整理券制で事前参加登録にてお申し込みいただけます。
学術講演会ホームページよりご登録ください。
<https://med-gakkai.jp/jspm63/>

共催：第63回日本心身医学会総会ならびに学術講演会/
ヴィアトリス製薬株式会社/住友ファーマ株式会社

EFX93M013A

P-26587v01

2022年5月

ヴィアトリス製薬株式会社 作成

メンタルヘルス不調からの職場復帰

井上 幸紀 先生

大阪公立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 教授

2011年に4大疾病（糖尿病、がん、脳卒中、心臓病）に精神疾患が加わり5大疾病となった。国が精神疾病対策を強化する理由として、患者数の急激な増加が挙げられる。特に労働者では、情報化社会の到来など急激な社会変化に伴い、メンタルヘルス不調者が増加している。不適切な職域対応では安全配慮義務違反として労働災害に認定されることもあり、職域では対応に苦慮している。特に、メンタルヘルス不調者に休職をすすめることは容易であるが、復職方法に戸惑う職場は多い。国は職域向けに「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」を2004年に出している。職場復帰支援の手引きとはいえ、「第1ステップ：病気休業開始及び休業中のケア」として治療開始時からの職域関与が検討されており、主治医による抗うつ薬投与などによる症状改善に伴い「第2ステップ：主治医による職場復帰可能の判断」に進み、「第3ステップ：職場復帰の可否の判断及び職場復帰支援プランの作成」、「第4ステップ：最終的な職場復帰の決定」では職域での望ましい対応が示されている。その後に職場復帰となり、「第5ステップ：職場復帰後のフォローアップ」までが含まれる手引きである。国の出すこれら手引きや指針に添い、職域はこれら知識を持つ主治医との連携を希望している。ご存知の方もおられると思うが、今一度基本的な復職対応の仕方について、主治医側と職場側の視点から、症例を通して考えてみたい。また時間が許せば、現在コロナ禍という大きな社会変化が生じており、その労働者のメンタルヘルスに及ぼす影響についても考えたい。